

益田川と海をつなぐ 自然環境保全活動組織

事例発表



副代表
佐々木 隆志

益田川と海をつなぐ自然環境 保全活動組織について

- 所在地 : 島根県益田市（清流日本一・高津川を有する）
- 活動範囲 : 益田川下流域と河口周辺の海岸
- 活動内容 : 益田川下流域におけるヨシ帯の管理、内水面の生態系調査、ゴミ回収、海岸部でのチョウセンハマグリ資源管理およびそれらに関わる教育・普及活動
- 構成員 : 約70名（NPO法人アンダンテ21、地元漁業者（JFしまね蛤の会）等）

活動範囲



高津川

- ・一級河川
- ・「水質日本一」実績4度あり

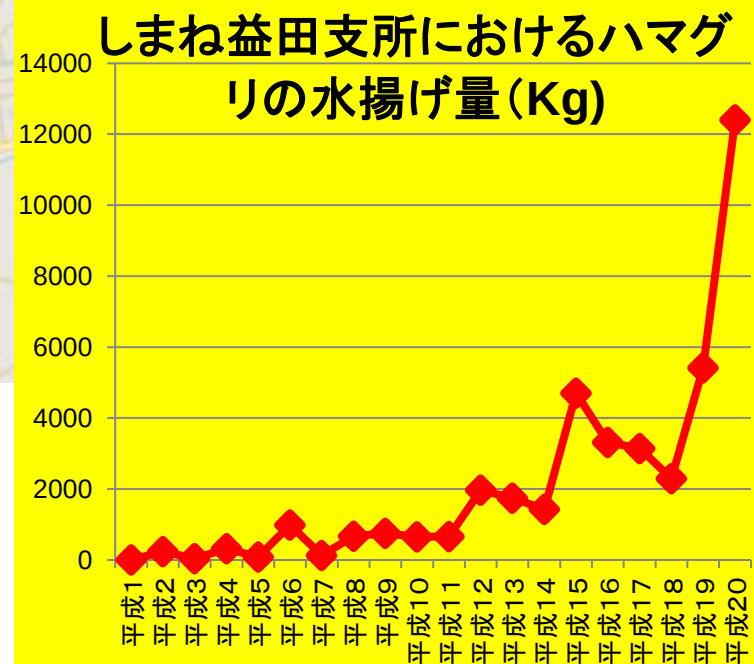


益田川

- ・二級河川
- ・県内水質ワースト1
- ・漁業権なし



活動範囲



漁業者による漁獲制限などの取り組みによってハマグリ漁業が復活

日本海唯一のチョウセンハマグリ漁場

益田市のハマグリ漁業



磯見漁



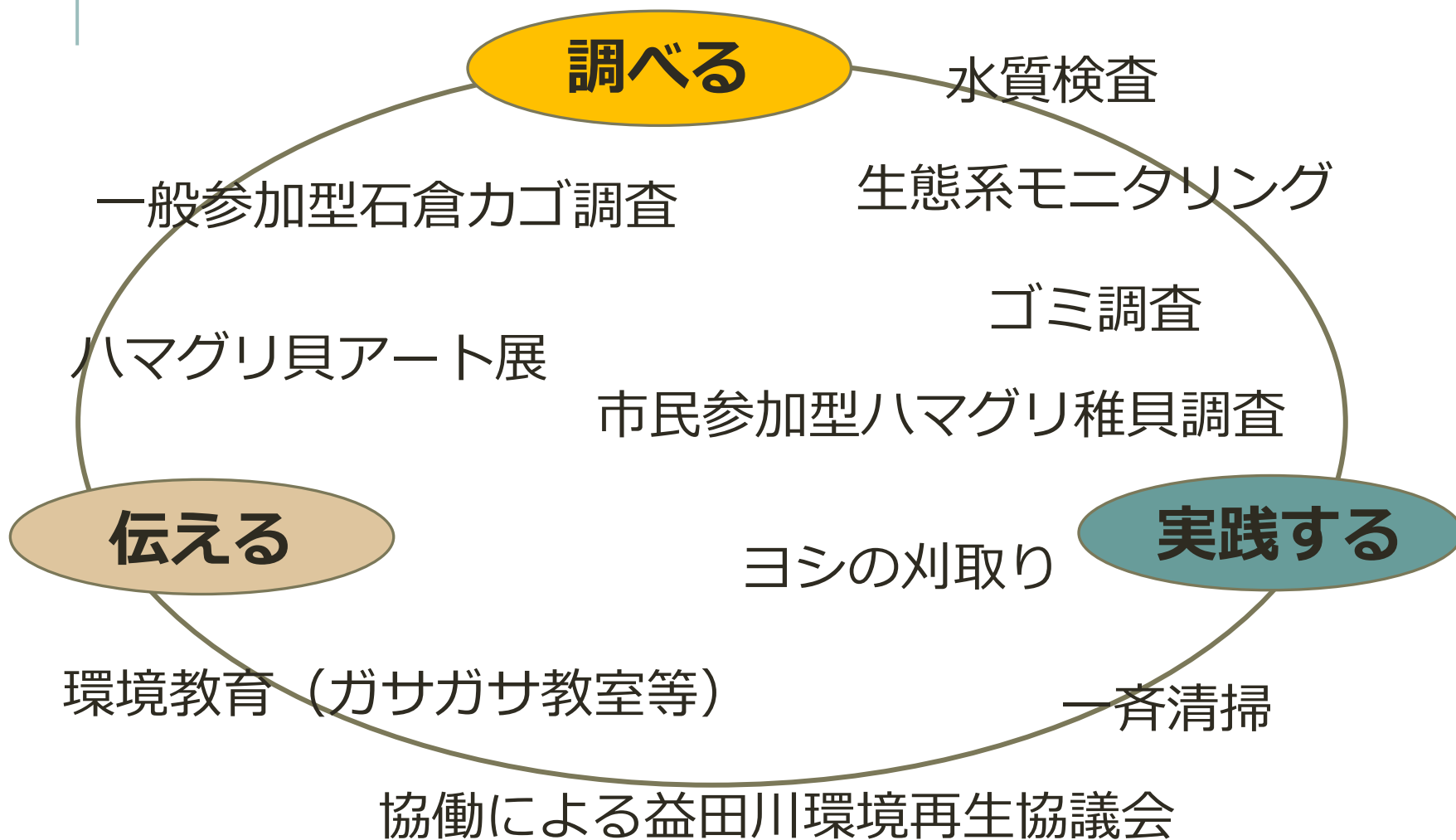
活動のコンセプト

- 益田川の水環境再生（ヤマトシジミの復活）
- チョウセンハマグリ資源の安定化

- 住民・行政・漁業者との「協働」の実現
- 自然環境・資源に対する、住民意識の向上
- 次世代プレイヤー増加・地域内での教育システムの形成

教育・啓発活動の必要性

活動内容



活動紹介（ヨシ帯の管理）



秋季のヨシの刈取り

活動紹介（干潟等の保全）



チョウセンハマグリ
稚貝の密度調査



活動紹介（内水面の生態系の 維持・管理・保全）



「石倉カゴ」を用いた生態系
モニタリング

漁業者、市民参加型
の河川清掃



調査・モニタリング活動への 非構成員の参加



一般公募した参加者との
ハマグリ稚貝調査

市民参加型

河川清掃時にゴミの分類
調査を地元小学生と実施



自然体験イベントの開催

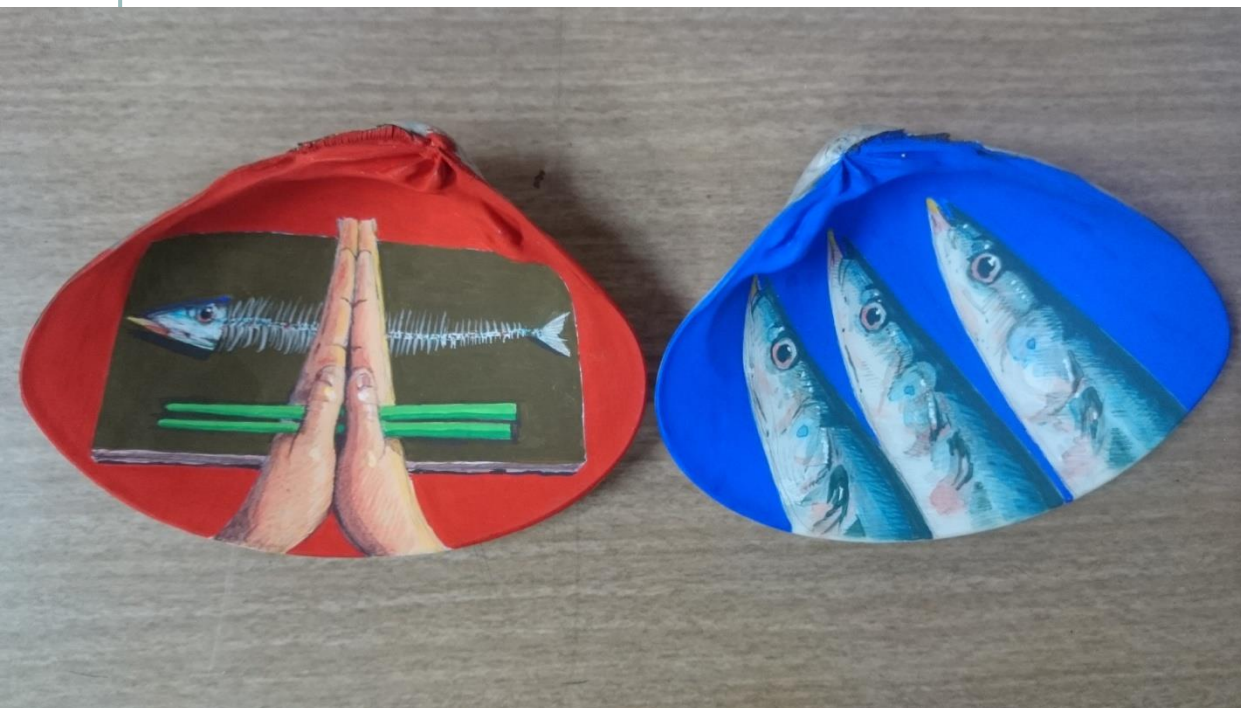


川でのフィールド
体験授業
(地元小学校との連携)

「ガサガサ教室」の開催



ハマグリ貝アート展の開催



出展数：200作品前後
来場者：1000名以上

地元特産の「鴨嶋はまぐり」（殻長70mm以上のチョウセンハマグリ）の貝がらに絵を描いた「現代の貝合わせ」作品を募集・展示



ハマグリ貝アート展の開催



←授賞式の様子



↑ 海浜環境について来場者に
訴える、漂着物展示



← 地域の海に生息する貝类等、
多彩な展示

ハマグリ貝アート展の開催

(併設イベント)

↓ 現役漁業者による、
ハマグリ伝統漁法の実演

↑ 貝殻等を用いた、オリジナルのクリスマスリース作り体験



教育・啓発活動一覧（H28年度）

（当活動組織の活動範囲で行ったもののみ）

対象	募集方法	内容
一般全体	公募（チラシ配布、新聞掲載等）	ハマグリ貝アート展
		調査参加（ハマグリ稚貝調査、石倉カゴ引揚）
		益田川一斉清掃への参加（会場に環境啓発のための展示有）
	公民館行事と連携（公民館を通じて公募）	益田川エコツアー（親子ガサガサ教室）
吉田小学校5年生	学校との連携（総合学習時間）	水質調査（2回）
		ガサガサ体験、石倉カゴ見学
		河川清掃参加（ゴミ調査）
安田小学校4年生	学校との連携（総合学習時間）	ハマグリ稚貝採取体験 海岸ゴミ調査
全国高校生環境サミット参加者	高校との連携	ハマグリ稚貝密度調査参加
市議会議員	議会事務局に打診	益田川環境についての勉強会

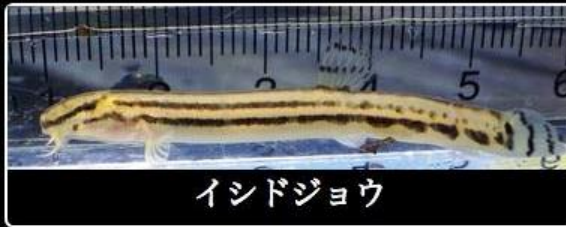
教材の例

(「高津川流域デジタルさかな図鑑」)

H27 アンダンテ21で作成



フナ



イシドジョウ



イシドンコ



イトモロコ



カジカ



カマツカ



カワアナゴ



カワムツ



カワヨシノボリ



コイ



クロダイ



マゴチ



マハゼ



メダカ



教材の例

(生物標本)



教育・啓発活動のポイント

■ 住民、子ども等の巻き込み

- ・ 地元小学校、公民館等との連携・協働
- ・ 子供を通じた親世代の巻き込み
- ・ 漁業者、地域住民への講師依頼
- ・ 教員、公民館職員への環境教育講習会の実施



■ 地域の自然環境への意識向上

- ・ 「アクションラーニング」手法の取り入れ

※現場での活動を通じて、自分たちで課題を設定し、グループでの行動・振り返りを重ねながら解決方法を見出していく学習方法

アクションラーニング

1学期

4月 河川についての概論(講義)

5月 水質検査(益田川・高津川)

6月 生物採取(益田川)

2学期

10月 班でテーマを決めて調べ学習

11月 ゴミ清掃・ゴミ調査(益田川)

学習発表会

12月 啓発看板作成(県土整備事務所と協働)
成果まとめ

3学期

2月 市民向けセミナーでの発表
(生活排水と河川ゴミについて)



実践する

調べる

伝える



課題認識⇒体験⇒学習⇒地域貢献⇒協働⇒大人へのインパクト

まとめ

環境や資源保護に関する課題は、地域住民や行政が一体となった取り組みが不可欠。

また、これらの取り組みは決して短期間で成果が出るものではなく、複数世代に渡る継続が必要。



水産業や漁村の多面的機能を発揮するためには、多様な主体が協働しての、地域住民や次世代の担い手に対する教育・啓発活動の展開が重要。

漁業者とNPOの協働

蛤の会（漁業者）の想い

漁場を守りたい

後継者を育てたい

ブランド力を高めたい



アンダンテ21（NPO）の想い

地域の環境保全

地域を愛する人づくり

自然の恵みを活かした地域活性化

協働

ハマグリと漁場の保全活動

ハマグリとそれを取り巻く自然環境についての普及・啓発



ありがとうございました。

CONTACT

益田川と海をつなぐ自然環境保全活動組織

〒698-0032

島根県益田市水分町18－10

NPO法人アンダンテ21事務局内

TEL/FAX : 080-1635-2119

E-mail : andante2100@gmail.com